

飯塚駅周辺地区整備基本計画 概要版

飯塚駅周辺地区整備基本計画の概要

■ 計画の背景と目的

飯塚市では、中心拠点と地域拠点に必要な機能を集約し、拠点間を公共交通機関で結ぶことにより相互に補完して生活の利便性を高めていくことを目指しています。市の中心拠点の一つであり、飯塚駅が位置する菰田・堀池地区では「菰田・堀池地区活性化基本方針」を平成30年12月に策定し、「交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり」をまちづくりのコンセプトとして定めています。この基本方針に沿い、更に方向性の実現に向けた計画として、「飯塚駅周辺地区整備基本計画」を策定しました。

本計画では、飯塚駅舎を含む自由通路及び飯塚駅東西駅前広場、飯塚駅周辺地区内の道路、公園について整備内容を定めており、本計画に沿って、飯塚駅周辺地区的活性化を図る整備を推進します。

■ 飯塚駅および周辺地区的現況

飯塚市の中心拠点の一つに定めていますが、高齢化や人口減少等によりかつての賑わいが失われつつあります。また、空き店舗や空き地等の発生により市街地の低密度化が進んでいます。

バリアフリー化が進んでおり、拠点連携型のまちづくりを進めるため、持続安定的な公共交通ネットワーク及び交通結節点としての機能の確保・維持、バリアフリー化の推進など、歩行者にやさしい空間の創出が求められています。

<飯塚駅周辺地区的道路>

堀池交差点（国道201号飯塚庄内田川バイパスと西町天道線の交差点）は、慢性的な渋滞が発生していて、国道201号八木山バイパスの4車線化や大規模集客施設の立地により、更に交通量が増加することが予想されます。

市道卸売市場2号線及び3号線は、歩道が未整備のため、歩行者にとって危険な状況となっています。

<飯塚駅周辺地区的公共交通>

公共交通は鉄道（JR福北ゆたか線）と、駅の近くを通る民間路線バス（西鉄バス）と市のコミュニティバスです。現在は民間路線バス、コミュニティバス共に、飯塚駅の駅前広場内への乗り入れはありません。

■ 課題

飯塚駅周辺地区的主な課題は、以下のとおりです。

- (1) 中心拠点の地区にふさわしい交通基盤の充実
- (2) 飯塚駅の交通結節点としての機能強化
- (3) 飯塚駅東西の分断の解消や地域の拠点として賑わい空間の創出
- (4) 共生のまちづくり実現に向けたバリアフリー化
- (5) 交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくりにおける民間活力の活用

■ 飯塚駅周辺地区整備計画の対象範囲

飯塚駅周辺地区整備計画の範囲は、飯塚市立地適正化計画の居住誘導区域と都市機能誘導区域と本地区の課題を踏まえ、図に示す範囲（面積=163ha）に設定します。



飯塚駅周辺地区整備計画

■ 目標

- (1) 飯塚駅を拠点とした都市機能の充実と交通結節点機能強化によるコンパクトな市街地の形成
- (2) 移動等円滑化促進地区である飯塚駅周辺地区的バリアフリー化を進め、回遊性、利便性及び安全性を向上
- (3) 飯塚駅東西アクセスを強化し、駅東西の一体整備による活性化及び賑わいを創出

■ 整備構想

- (1) 中心拠点にふさわしい交通結節点の利便性及び安全性の向上
- (2) すべての人が円滑に移動できる安全・安心なまちづくり
- (3) 未利用市有地の有効活用と快適な都市機能整備による賑わいの創出

■ 事業展開

まちづくりの目標実現のための道路事業、公園事業、駅前広場整備事業を進めるとともに、旧卸売市場敷地への大規模集客施設設立地等地域の賑わいの創出（民間活力）を進めます。

交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり

飯塚駅周辺地区的整備構想



道路

周辺施設へのアクセス性と地域の安全性、利便性向上のため、交差点改良や歩道整備及び一部無電柱化等を行います。

中心拠点にふさわしいアクセス道路の整備

<旧飯塚市地方卸売市場跡地周辺道路>

市道卸売市場2号線、市道卸売市場3号線、市道鶴三緒・徳前線



現況（渋滞状況）

大規模集客施設の誘致で交通量の増加が見込まれるため、道路改良と交差点改良および区画線設置を行います。

<堀池交差点>

国道201号飯塚庄内田川バイパスと接道する道路交差点

渋滞緩和のため、西町天道線の堀池交差点付近の交差点改良等の道路整備を行います。

歩行者の安全・安心な移動や、賑わい創出に繋がる歩道の新設整備

大規模集客施設の周辺道路整備では歩行者が安全・安心に移動できると共に、人の移動による賑わい創出に繋がる歩道の新設を行います。



市道卸売市場2号線現況

円滑で安全な移動に資する踏切の改良等整備

飯塚駅北側に位置する桜ヶ丘踏切改良事業では、踏切を安全に横断できるよう、段差・不陸を解消する整備を行います。



整備イメージ

公園

飯塚駅周辺地区と合わせて整備します。

回遊性、利便性及び安全性の向上を図り、更には高齢者や障がい者及び観光者等、誰でも快適に利用できるようバリアフリー化を行い、地域イベント等でも幅広く活用できる地域交流の拠点づくりを行います。

未整備の公園整備による新たな地域交流の拠点づくり

<西菰田公園 [菰田堀池公園（仮称）]>

西菰田公園の計画を飯塚駅から徒歩圏内の地域住民だけでなく、駅利用者も気軽に利用できる場所に再配置することで、交流人口の増加、回遊性の向上、地域交流の中心拠点としての憩いの場の形成など、地域活性化に繋げる整備を行います。

<菰田西公園>

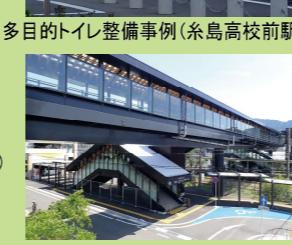
西菰田公園と連動して飯塚駅周辺地区的回遊性、利便性及び安全性の向上を図るとともに、利用状況を考慮した改修を行います。

駅前広場（自由通路・駅舎を含む）

交通結節機能強化や利用者等の交流空間の形成を図り、利用する人、訪れる人が快適に利用できる自由通路・駅舎と駅前広場の整備を計画します。

シェルターやトイレなど快適な利用のための施設計画

- 東西両方の駅前広場で自由通路入口や駅舎から乗降場まで、シェルター設置を計画します
- 快適な駅及び駅前広場利用に配慮して、多目的トイレの西口広場への設置を計画します



バリアフリーに配慮した施設計画

- 西口駅前広場は、身体障がい者の乗降場を駅舎に近い位置に計画します
- 歩道の幅員は歩行者等が安全に通行できる幅員を計画します
- バリアフリー化に必要な施設を計画します

安全な歩行者動線を実現する施設計画

- 横断歩道から乗降場等までは離隔を5m以上確保する計画とします
- 駅前のアクセスで、歩行者が道路を横断する回数が最低限となる動線計画にします



東口駅前広場の新設計画

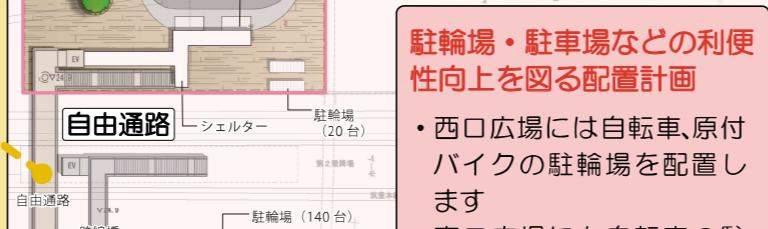
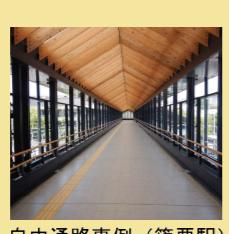
- 一般車の乗り入れができるロータリーを計画します
- 自由通路に近い位置に一般車乗降場を配置します



東口駅前広場

自由通路整備計画

- 自由通路の幅員は車いすを押して歩く人が2人で話しながら歩く人とそれ違うことができる幅員として屋根・壁を設置します
- エレベーターの規模は、バリアフリーの基準を考慮します



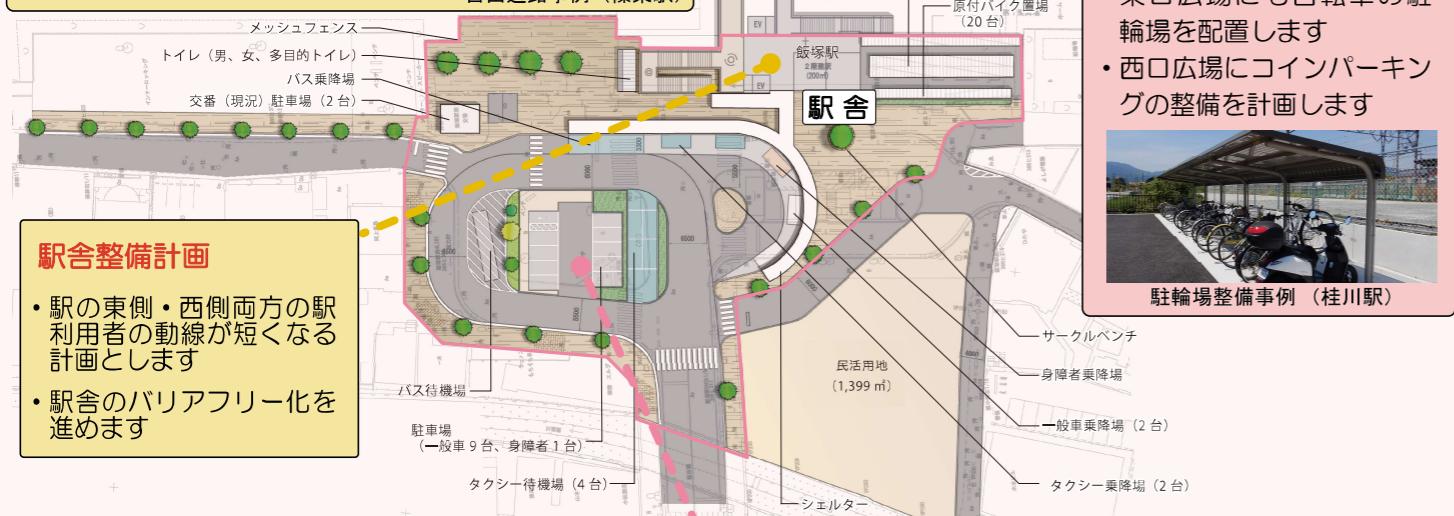
駐輪場・駐車場などの利便性向上を図る配置計画

- 西口広場には自転車、原付バイクの駐輪場を配置します
- 東口広場にも自転車の駐輪場を配置します
- 西口広場にコインパーキングの整備を計画します



駅舎整備計画

- 駅の東側・西側両方の駅利用者の動線が短くなる計画とします
- 駅舎のバリアフリー化を進めます



西口駅前広場の交通結節点としての機能強化に必要な配置計画

- 大型バスが広場内で旋回できる大きさでロータリーを計画します
- 駅の南北の生活道路からの駅前広場への接続に配慮した計画にします
- 利用が多い一般車の乗降場、タクシー乗降場を配置します
- タクシーの待機場を配置する計画にします

利用者が滞留するエリアの設置

- 利用者が滞留し、駅前に賑わいが創出できるスペースを計画します（ベンチの配置など）
- 修景や緑陰ができるよう植栽を計画します

訪れる誰にも親切な施設設置計画

- 情報表示板を東口、西口両方の駅前広場に設置する計画にします

西口駅前広場

駅前広場（自由通路・駅舎を含む）の配置は決定したものではなく、実際とは異なるものになります。具体的には今後の設計で決定していく予定です。



完成イメージ（飯塚駅西口側）



完成イメージ（飯塚駅東口側）

※現時点の施設配置イメージを表現したものであり、今後変更になる可能性があります。

事業の進め方

飯塚駅周辺地区整備計画は、下記のスケジュールで整備を計画します。

なお、スケジュールはおおよその目安であり、事業の進捗状況や関係機関との協議・調整により、変更が生じる可能性があります。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市場周辺道路整備	設計	工事				
西町天道線	設計	工事				
菰田堀池公園整備 (仮称)	設計	工事				
菰田西公園整備				設計	工事	
駅前広場整備事業 (自由通路・駅舎を含む)			設計		工事	
桜ヶ丘踏切改良			設計	工事		